

平成26年度  
生ごみ水切りチャレンジモニター事業実施結果

平成27年4月  
弘前市都市環境部環境管理課環境事業所



# 平成 26 年度生ごみ水切りチャレンジモニター事業実施結果について

## 1 実施内容及び目的

生ごみの重量の約 80%は水分で占められており、そのまま排出すると多くの水をごみとして運び処理していることになる。また、家庭から出る一番身近なごみが生ごみであり、市の可燃ごみの組成分析調査結果で家庭から排出されるごみの約 4 割が生ごみであることが判明しており、水切りをすることで大幅なごみ減量化につながる可能性がある。

そこで、家庭から出される生ごみの減量化を図るため、水切り器具を利用した生ごみの水切り効果の調査を実施するモニターを公募し、アンケート調査等により得られたデータをもとに減量効果の検証を行うとともに生ごみの水切りを市民に啓発していくため、本事業を実施したものである。

### (1) モニター募集



- ・募集期間 平成 26 年 7 月 1 日 ～ 平成 27 年 1 月 15 日
- ・募集方法 市ホームページ、広報ひろさき 7 月 1 日号に募集記事を掲載
- ・募集人員 200 名
- ・申込人数 185 名

### (2) モニター実施期間等

モニターに対し、水切りを開始した日から 1 カ月程度の期間を設定してもらい、生ごみの水切り前と水切り後の重量を記録してもらい、水切りによる生ごみの減少量等の調査を行った。

### (3) 使用した水切り器具

今回、下記の 2 種類の水切り器具をモニターに使用してもらい水切りを実施してもらった。

製品名	水切りダイエット	しぼりっ子
実物		
使用人数	95 名	90 名

## 2 実施結果

モニター世帯 185 世帯中 160 世帯（回答率 86%）から水切り前と水切り後の生ごみの重量の記録及びアンケートの回答を得た。

### (1) 水切り器具の使用による生ごみの減少量

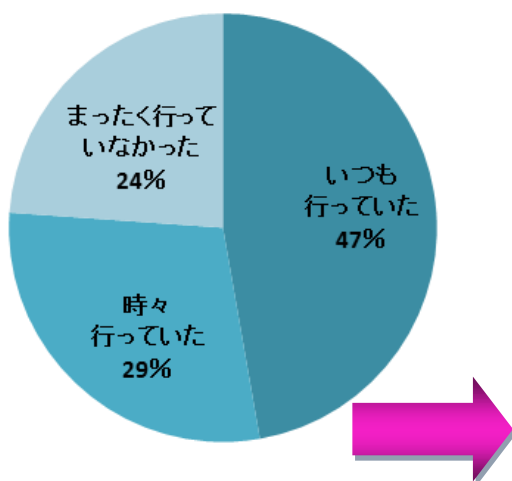
製品名	水切りダイエット	しぼりっ子
世帯数	80 世帯	80 世帯
水切りを実施した総回数	1,350 回	1,780 回
(A) 水切り前の総重量	969.6kg	1011.3 kg
(B) 水切り後の総重量	884.0kg	948.0kg
減少量(絞れた水分) (A)-(B)	85.6kg	63.3kg
減少率(A)-(B)/(A)	8.8%	6.3%

### (2) アンケート調査結果

#### 1 モニターの世帯人数

1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯
12	48	26	28	34	4	4	4

#### 2 モニターとなる前の水切りの実施状況

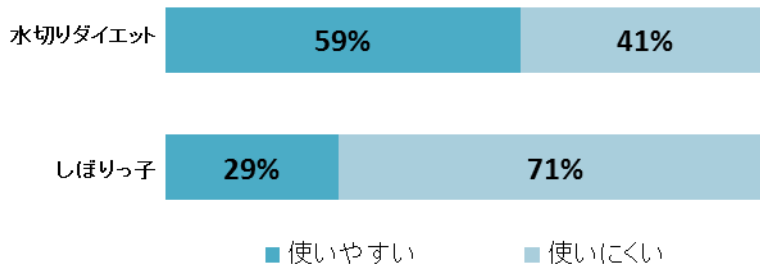


	人数	割合
いつも行っていた	76	47%
時々行っていた	46	29%
まったく行っていなかった	38	24%
合計	160	100%

#### 水切りの方法

- ・水切りネットを使用 135 人
  - └ ネットに集めたごみを手で絞る
- ・三角コーナーを使用 17 人
  - └ 1 日おいてから捨てる
- ・シンクの排水かごを使用 8 人
- ・ビニール袋の底に穴を空けて水を切る
- ・生ごみをシンク内に置かないようにする

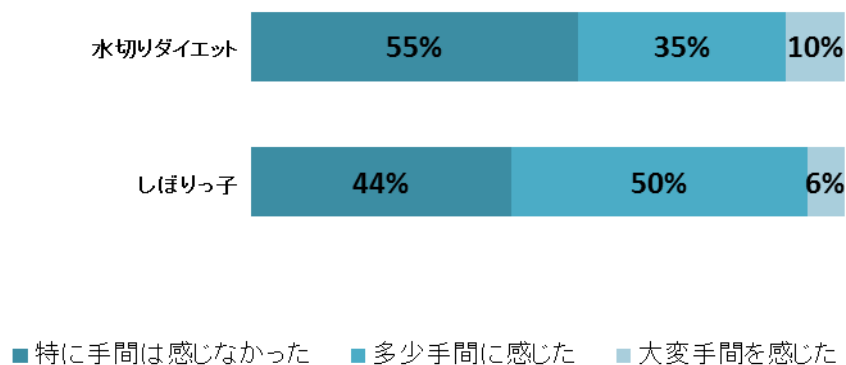
### 3 水切り器具の使用感



	全体		水切りダイエット		しぼりっ子	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
使いやすい	70	44%	47	59%	23	29%
使いにくい	90	56%	33	41%	57	71%
合計	160	100%	80	100%	80	100%

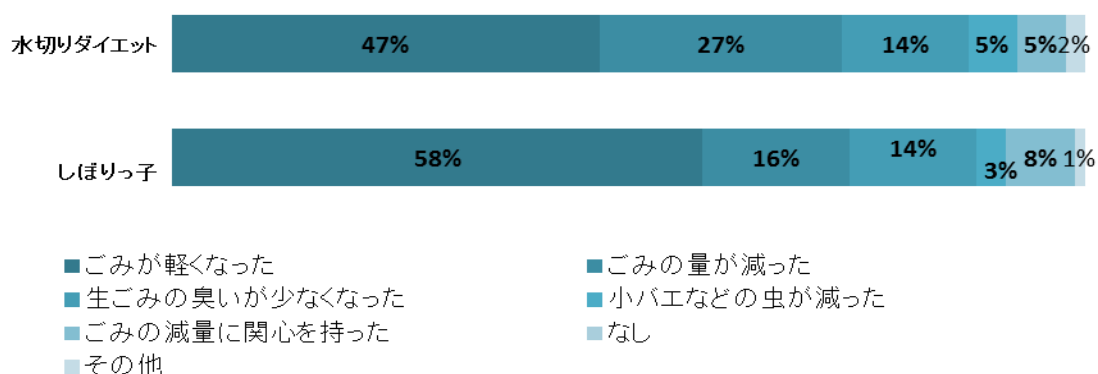
	水切りダイエット	しぼりっ子
使いにくかった点	水切りが十分に行われな感じがある。	汚れが付きにくいので清潔に使用できますが水切りの効果がありませんのが残念です。
	ビニール袋をかぶせて力で絞った方が早い	コンパクトで使いやすかったが思ったより柔らかくならなかったのが残念でした。
	使用した後に洗わないと不潔、洗剤で洗い流す必要があった。	水分を逃がす穴が底だけでは少ない。容器が硬くてなかなか絞れない。容器が小さすぎる。2~3回位に分けて使った。
	なれるまではネットが外れたり上手いかなかった。	全体が硬く押しでもあまり絞れない。
	手が痛くなるほど力を入れ何回も押さえつけてもあまり重量が少なくならなかった。	ちょっと硬くて絞りにくかった。
	かなりの力がないと水が絞れないのに力を入れるとネットが破けてしまう。相当水分の多いごみごみなら使う価値があるかもしれないが使った後の汚れを洗う手間と比べると全く欲しいと思わなかったです。	高齢者なので力が入らず、絞りきれなかった。
	十分に水切りができなかった。もっと減らしていたが...	絞りにくくあまり水切りされていない気がした。ごみの量もあまり入らないので使い勝手が悪い。
	水切り器がもう少し大きいと便利です。	押し付ける際生ごみが多いとこぼれてしまう。底が硬いので絞り切れない。
	手で絞った方がしっかりと絞れるし早い。水切り器はある程度生ごみが多くなると使えない。	材質が硬くて押し付けてもほとんど水切りできなかった。結局手で絞って水切りしましたが、これが一番確実だと思います。
	水切りダイエットをネットにセットして絞るだけでは不十分。絞りながらシンクに数回押し付けると効果的。	思うほど水切りができない(硬いから)
		容量が小さい
		細かいものが穴から落ちるので家にあったストッキングタイプの水切り袋を使用しました。
	ごみの量が多すぎても少なすぎてもうまく絞れない。わりと硬くて下の方に水分が溜まっているのに絞りにくい。手で横から押ししても形が崩れにくく思うように絞れなかった。そのため上の皿のように固いものを押し水切りしました。	

#### 4 水切りの手間



	全体		水切りダイエット		しぼりっ子	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
特に手間は感じなかった	79	49%	44	55%	35	44%
多少手間に感じた	68	43%	28	35%	40	50%
大変手間を感じた	13	8%	8	10%	5	6%
合計	160	100%	80	100%	80	100%

#### 5 水切りをして良かった点（複数回答可）



	全体		水切りダイエット		しぼりっ子	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ごみが軽くなった	98	53%	44	47%	54	58%
ごみの量が減った	40	20%	25	27%	15	16%
生ごみの臭いが少なくなった	25	15%	12	14%	13	14%
小バエなどの虫が減った	8	4%	5	5%	3	3%
ごみの減量に関心を持った	12	6%	5	5%	7	8%
なし	0	0%	0	0%	0	0%
その他	3	2%	2	2%	1	1%
合計	186	100%	93	100%	93	100%

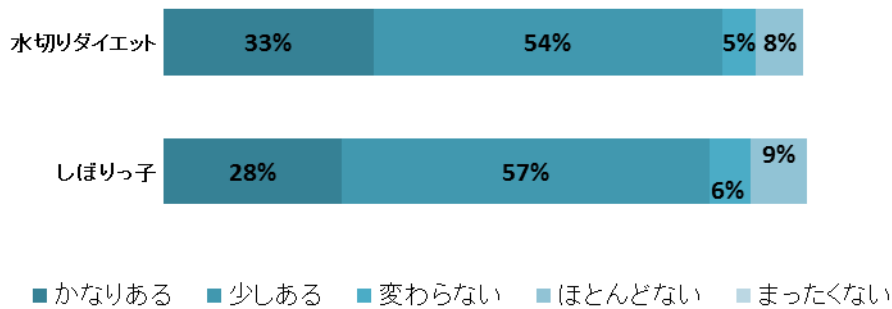
<その他の主な回答内容>

いつもやっているのので特になし。

良かった点は感じませんでした。

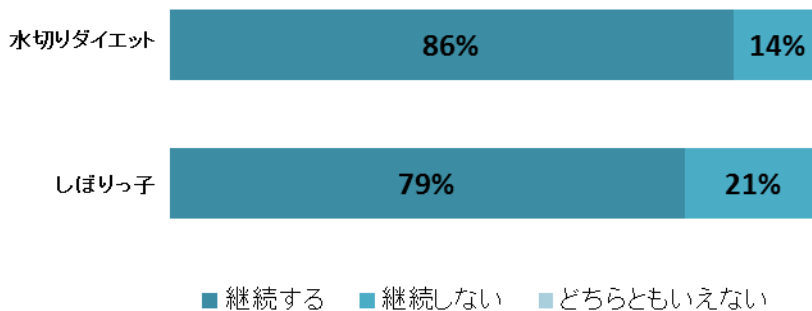
生ごみとして出しやすくなるから。

6 水切りによる生ごみの減量効果について



	全体		水切りダイエット		しぼりっ子	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
かなりある	48	30%	26	33%	22	28%
少しある	90	56%	44	54%	46	57%
変わらない	9	6%	4	5%	5	6%
ほとんどない	13	8%	6	8%	7	9%
まったくない	0	0%	0	0%	0	0%
合計	160	100%	80	100%	80	100%

7 今後も水切りを継続するか



	全体		水切りダイエット		しぼりっ子	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
継続する	132	83%	69	86%	63	79%
継続しない	28	18%	11	14%	17	21%
どちらともいえない	0	0%	0	0%	0	0%
合計	160	100%	80	100%	80	100%

<継続すると回答した方の主な理由>

- ・家庭で処理して堆肥にする。

- ・生ごみを処理する時の負担を少しでも減らしたいため。
- ・水切りをすると清潔で、軽くなるし、捨てやすい。
- ・生ごみのいやな臭いがなくなるから。
- ・前から行っていたのでそのまま継続します。
- ・ごみの減量にもなるし、集積所が清潔になる。
- ・市民がやるべきことだから。
- ・水切りと併せてダンボールコンポストも試したい。
- ・エコのために行う。
- ・簡単にできるから。
- ・水切りの重要性を知ったため。
- ・市のごみ処理に対する経費削減のため。
- ・少しでもごみの減量に繋がれば良いと思うため。
- ・無理ない程度で継続します。
- ・個々人が行うことで、大きな減量に繋がるから。
- ・生ごみを処理することで、ごみ袋からの水だれを防げる。
- ・少しごみが軽くなるし、臭いも少なくなったから。
- ・家族で楽しくできたから。
- ・水分を切った状態だと生ごみとして出しやすいから。
- ・水分をできるだけ取り除いて生ごみの減量に協力したい。
- ・少し手間に思いますが、生ごみの水切りが習慣になったため。
- ・水切りネットは使い勝手が良かった。同品を使い続けたい。

## 8 自由意見

### <肯定的な意見>

- ・少しでも生ごみを減らして堆肥・肥料として使いたいと思います。
- ・市の経費削減に少しでも役に立ちたいので、今後も続けたい。
- ・エコを大切にした生活の為には、実践することが大事。
- ・モニターを始めてから水切りを以前よりも丁寧に行うようになった。
- ・ごみの減量に繋がることを忘れずに続けていきたいと思った。
- ・モニターになって今まで以上に生ごみの減量の大切さを意識するようになった。
- ・水切り用具はコンパクトな大きさだったので、多くの生ごみをためずに捨てることができたので、衛生的でした。
- ・少しでもごみが軽くなるので、ごみの量も減ると良いと思いました。
- ・今まで通り続けたいと思います。少しでも何かの役に立ちたいと思っています。
- ・ごみを収集してくれている人に感謝の気持ちを持つようになりました。
- ・モニターの初めの頃は、計量が面倒だったが、何回も行う毎に慣れてきた。終わることができて良かったです。
- ・水切りネットを使うとぬめりが少なくなった。
- ・ごみを出す時、ごみが少しですが軽くなりました。
- ・エコロジーに貢献したい。



- ・生ごみの減量、ごみの正しい分別の意識が高まりました。
- ・実際に計量してみると水切り前後の差が分かり、続けることができた。
- ・ほんのわずかな減量ですが、継続することで市全体のごみ減量に繋がっていけば良いと思いました。
- ・最初は手間がかかりそうだと思っていましたが、実際行ってみると簡単でした。微力ですが継続していきたいです。
- ・習慣になるように継続していきたい。
- ・ごみの分別に気を付けるようになりました。
- ・毎回の計量は面倒でしたが、減量の効果が目に見えて分かるので楽しくできました。
- ・ごみに対する意識が強くなった。また、楽しかった。
- ・今まであまり考えずにやっていましたが、今回のモニターでとても楽しく、これからも続けていきたいと思いました。
- ・思ったよりも減少量が少なかった。以前から水切りには気をつけていたが、更に意識が高まった。ありがとうございました。

#### <否定的な意見>

- ・水切りダイエットを使うと、直接ごみに触れなくてよいので、使い勝手が良かったです。ただごみの量が少ないとあまり効果的に水切りはできませんでした。
- ・仕事柄多忙なため、水切りを継続はしないと思う。
- ・水切り用具は水切りの穴を底面のみではなく側面にもあったら良かった。
- ・水切り前と水切り後の量に多少の変化が見られた。生ごみは主に果物や野菜の皮が多かったのでも、水切りが思ったよりもできなかった。
- ・面倒だった。74歳という年齢には大変だった。計量のため手が汚くなり、そのたびに手と水切りダイエットを洗っていたので、水を沢山使用した。
- ・まめに水切りをしていたつもりでも義務となると面倒に感じた。
- ・自宅の三角コーナーが大き過ぎたのか、ネットを被せにくかった。
- ・コーヒーの搾りかす等はやりやすかったが、卵の殻などは硬いし、臭いもするので面倒だった。
- ・毎日計量することは、大変面倒なことだと思った。
- ・その都度の計量が面倒でした。また、そのまま置けば計量器が汚れるので、紙をしいて行っていました。

#### <その他>

- ・今度は生ごみを堆肥化することに挑戦したい。
- ・モニターになる前から行っていたことなので、強いて感想はないが、市内全世帯が行えば大きな力となる。
- ・ごみの減量は生ごみだけではないはずです。きちんと分別することも大切だと思います。市民はリサイクルの意識が低いと思います。
- ・水切りを意識していたが、絞るとさらに水が出るものだと感じた。生ごみだけを三角コーナーだけに入れると、ラップ・ビニール等の包装ごみの多さを改めて感じた。

- ・モニターをしてみて、こんなに水分が含まれていたのだと驚きました。
- ・水分を減らすことで、生ごみがコンパクトになり出しやすく、また焼却のための燃料も減らすことに繋がれば、とても意味のあることだと思いました。ごみ処理に使う税金を少しでも減らし、浮いた財源を有効に使って欲しい。そのためには市民一人ひとりの意識を高めることが必要だと思いました。
- ・水切り用具を使わなくても、三角コーナーを斜めにして、そのまま放置しておくとかかなり水切りができます。
- ・水切りを実践してみて思ったことは、まず初日生ごみの水切りをしたら、あまり減らなかつた。排水口に付いている水切りネットはとても水分がしぼれて効果が実感できた。じゃが芋や人参、大根の皮などはなるべく水に濡らさないように気を付けている。ごみ処理場でごみを燃やす時、水分量の違いで、どの位のカロリー消費の差が出るのか、詳しく知りたいと思った。もっと広報して、各家庭の日々の生活の中で努力するようにしたら良いと思う。これからもずっと気を付けて続けていきたい。
- ・日頃から水切り袋を使用しているため、感想はありません。

### 水切りの様子



### 3 まとめ

- ・水切りによる減量効果等について

生ごみの水切りをすることにより平均7.5%の生ごみの減量となることが分かった。このモニター調査結果による数値を基に、市内の全世帯が生ごみの水切りを実施すると仮定すると、年間1,231トンの燃やせるごみの減量になる。

#### 生ごみの減量効果

$$16,410 \text{ t} \quad \times \quad 7.5\% \quad = \quad 1,231 \text{ t}$$

(家庭から出る燃やせるごみに含まれる  
生ごみの推計量【平成25年度】)                      (水切りによる  
生ごみの減少量)

- ・水切りのポイント

#### ★ 調理や片づけで工夫 ★

- ① 安くても余分なものは買わない。食べる分だけつくる。残さず食べる。
- ② 野菜の皮や芯なども料理に使い、生ごみ自体を減らす。
- ③ 排水口の水切りネットは浅くセットし、こまめに生ごみをとる。

#### ★ 水にぬらさない ★

- ① 玉ねぎの皮などはじめから乾いているものは水分を含んでいるものとは別にする。
- ② 野菜の皮むきは洗う前に行く。洗う前にやれば水分がつきません。
- ③ むいた野菜のへた・わた・皮や果物の皮や芯は乾いたざるなどに入れ、水にぬれないように保管する。(流しに三角コーナーを置かないなど)

#### ★ 水切り ★

- ① 水切り袋を三角コーナーから取り出し、上からペットボトルなどで押し、水を切る。
- ② 三角コーナーを傾けておき、一晚置いてから袋に入れる。
- ③ 新聞紙で包んで水分を吸収する。(新聞紙はよく水分を吸収する)
- ④ スイカやメロンなど水分の多いものは細かく切ると水が切れやすくなる。

#### ★ 乾かす ★

- ① 野菜くずや果物の皮は三角コーナーに捨てずに乾かしてからごみに出す。
- ② 野菜くずは新聞の上に置くなどして天日干ししてからごみに出す。
- ③ お茶がらやティーバッグは乾燥させてからごみに出す。
- ④ 雨のあたらない風通しの良いところで保管する。(エアコンの室外機の風にあてるとよく乾きます)

#### ★ アイディアグッズを使う ★

- ① 水が切れるように底にざるを敷いてふたつきのバケツで保管する。
- ② 要らなくなった鍋にざるを敷いて保管する。
- ③ ビニール袋に新聞紙を敷いて保管する。(ビニール袋は洗えば何回も使用可能)
- ④ 水切り用具を使う。

★ 最後の手段！ ★

- お茶がらやティーバッグなどは手で絞る。(ゴム手袋をつければ抵抗感はありません)

・モニター事業について

全体を通して、市民の皆様の高い環境意識がうかがえた。皆様から頂いた意見を参考とし今後の取り組みにつなげていきたい。また、皆様においても今後も継続して出前講座などによる生ごみの減量化の協力をお願いしたい。

**生ごみ水切りチャレンジモニターアンケート**

整理番号 \_\_\_\_\_

該当する記号に○を付けてください。

1. あなたの世帯は何人世帯ですか？ ( ) 人世帯

2. 生ごみの水切りをモニターになる前から行っていましたか？

a. いつも行っていた b. 時々おこなっていた c. まったく行っていなかった

⇒「a. いつも行っていた、b. 時々おこなっていた」と回答された方にお聞きします。どのような方法で行っていましたか？(例：水切りネットの使用など)

